

教育行政執行方針

詳細教育部総務企画課 Ⅱ(Ⅱ)6739

苦小牧市教育委員会は、「未来の社会をつくるひとづくり」という本市教育の基本理念に基づき、教育の一層の振興と充実に向けて、教育行政を推進してまいります。



いがらしみつる 五十嵐 教育長

1 一人一人のニーズに応じた確かな学力をはぐくむ教育活動の充実

1 学ぶ意欲の向上と望ましい学習環境の定着

15歳の目指す子ども像を中学校区で共有し、連携・一貫した教育を推進する苦小牧オール9の考え方に基づき、学校教育力向上エリア会議の取り組みを充実させるとともに、ICT教育環境の整備や読書教育を推進します。

2 確かな学力の定着を目指した学習指導の充実

小学校外国語の教科化に向けた指導内容の充実を図るとともに、プログラミング教育などの新たな取り組み指導内容についての研修講座を実施します。

3 特別支援教育の福祉との連携強化、環境整備

特別支援教育支援員の適正配置や、通級による指導の充実により環境を整備し、個別の支援計画を活用した福祉機関と学校との連携を進めます。また、特別支援学校の設置について、引き続き既存施設の活用も含め、道教委に要請します。

2 豊かな人間性と健康な体の育成

1 道徳教育の推進
市教育研究所に設置する道徳研究委員会

において資料提供や授業公開などを行うとともに、こころの授業の実施により、子どもたちが心と命について自ら気付くような指導の充実が努められます。

2 望ましい生活習慣の確立・体力の向上

苦小牧市PTA連合会と協働で策定した「情報機器 利用の約束」の啓発を進めるとともに、体力向上アクションプランにより、全ての学校で子どもたちが目標を持つて積極的に運動するよう取り組みを進めます。

3 いじめや不登校の未然防止、早期発見・対応と機関連携の強化

いじめの予防と適切な対処を図るための組織づくりを進め、第7回いじめ問題子どもサミットを開催するほか、不登校問題については予防的対策と解決的対策に取り組み、福祉などの関係機関との連携を強化します。

4 健康の保持増進に向けた取組の推進

小・中学校に給食用非常食を配備するとともに、老朽化した第2学校給食共同調理場の改築に向けた取り組みを進めます。また、フッ化物洗口の実施などによる予防事業を継続して実施します。

3 学校・家庭・地域社会が連携した信頼される学校づくりの推進

1 教職員の資質能力の向上
市教育研究所において、各種研修講座・

夜間講座を開催するほか、学力や体力向上などの教育先進地を視察し、その結果を授業改善委員会で活用します。

2 社会に開かれた教育課程の推進

コミュニティ・スクールのモデル地区を拡大し、家庭・地域住民が学校経営に参画しながら協働で子どもたちを育てていく体制構築を進めます。

3 安全安心な施設環境整備と新たな教育に対応した学びの環境づくりの推進

学校施設の耐震化や老朽化対策のほか、就学援助制度の周知徹底に努め、多子世帯への給食費支援制度についても検討を進めます。また、校務支援システムの利活用による教員業務の効率化を進め、特別支援教育支援員などの専門的職員の配置による組織力向上を図ります。

4 幼稚園、保育園、小・中学校間の連携の推進

苦小牧市学校教育力向上エリア会議を中核として、幼児期から中学校卒業まで連続した支援などを進められるよう取り組みを進めます。

4 家庭・地域で子どもを育てる環境づくりの推進

1 家庭教育に関する情報発信の充実
家庭教育情報紙「ほ・む・す・く」や苦小牧市小・中学校保護者向け一斉メール配信システムを活用し、さまざまな情報提供を行います。

2 家庭の教育力の向上を目指した研修機会の拡充

「情報機器利用の約束」の周知・普及を図るとともに、各学校において子育ての悩みや課題に関する学習会などを開催します。

3 地域における安全・安心・防犯のネットワークづくり

学校、保護者、地域および関係機関が連携して登下校の交通安全指導や防犯対策などの取り組みを進めるとともに、北海道胆振東部地震を踏まえて学校防災対応マニュアルの改訂を行います。

4 幼児教育の推進への連携の強化

幼稚園などとの引き継ぎが円滑に行われるよう効果的な連携の在り方について検討するとともに、特別な支援を必要とする幼児についての幼稚園等訪問事業を継続し、幼稚園などと学校との情報共有を進めます。

5 郷土の良さを生かした潤いのある生涯学習の推進

1 地域や市民と密着した協働体制の充実
市民および地域団体の活動状況や学習ニーズを把握し、出前講座やアーティストバンクなどによる支援に努めるとともに、地域コミュニティの醸成や、学んだ成果を地域で有効に生かすネットワークづくりに努めます。

2 生涯学習の環境整備と充実

赤ちゃん、絵本のとびら事業やナナカマド教室などの事業を継続実施するとともに、新たに策定した「第四次子ども読書活動推進計画」に基づき読書環境を整備するなど、いつでも、どこでも、だれでも学ぶことのできる環境づくりに努めます。

3 豊かな心や生きがい育てる地域コミュニティ形成の促進

アウトリーチ事業や文化芸術振興助成事業などによる活動の支援のほか、PMFオーケストラ演奏会や札幌親子しおさいコンサートなどの継続実施、(仮称)樽前アートスクールの開催などにより、一流の文化芸術に触れる機会の充実が努められます。